

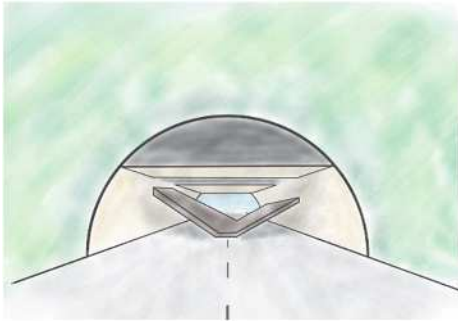
# 八王子市の公共施設マネジメント



八王子市 資産管理課



公共施設の事故が社会的な問題になっている



山梨県笹子トンネルの天井板崩落事故



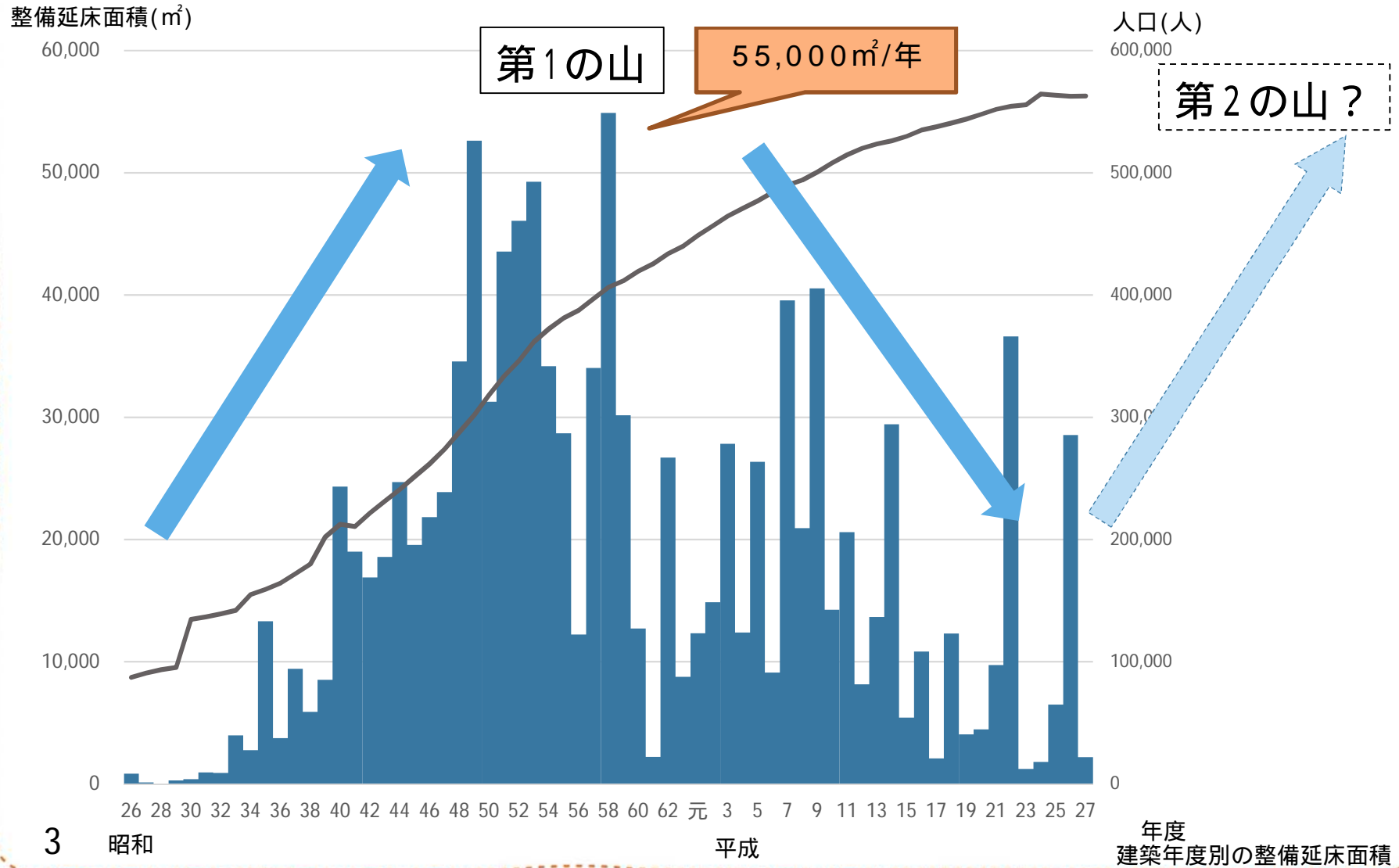
埼玉県内プールの吸水口吸い込まれ事故



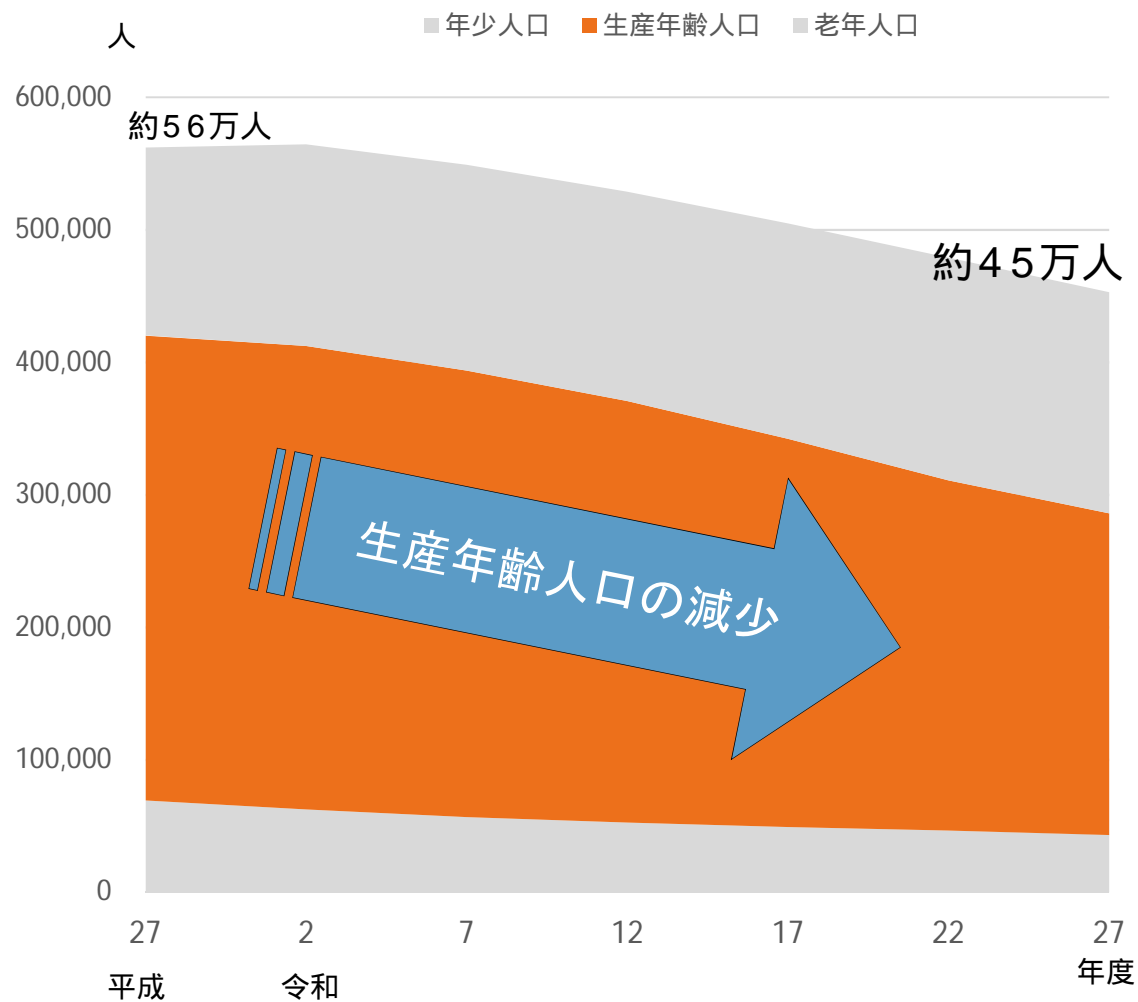
東京都九段会館の天井板崩落事故



# 1年間にどれくらいの面積の公共施設を整備したか



# 30年後の八王子市の人口は



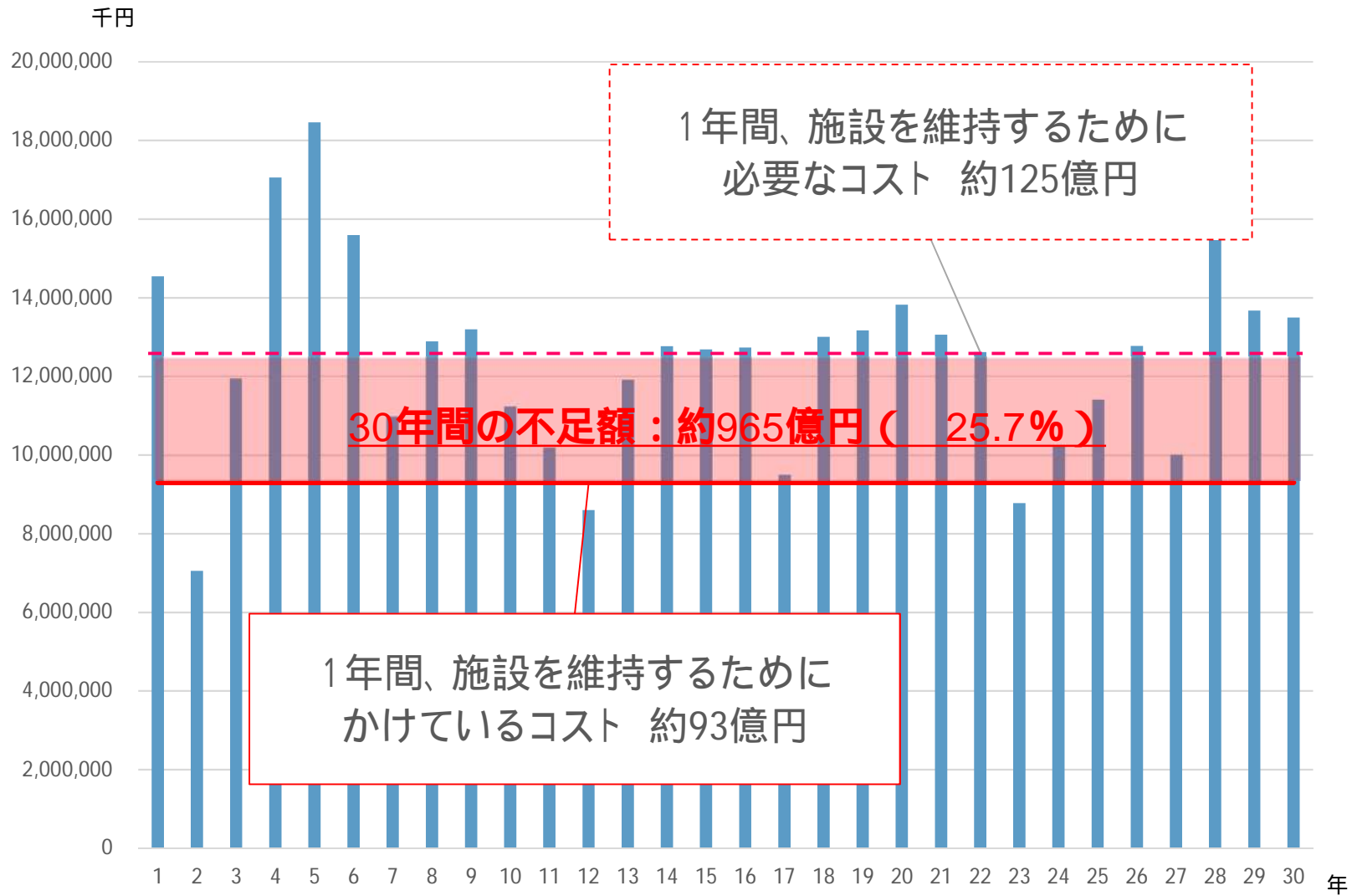
人口は **減**  
56万人 45万人

高齢化率は **増**  
25.0% 36.9%

税収は **減**



## 施設の維持管理にかけられるコストは



## 人口減少・超高齢社会



税込減

…使えるお金が減る



社会保障関係費の増

…必要な経費が増える

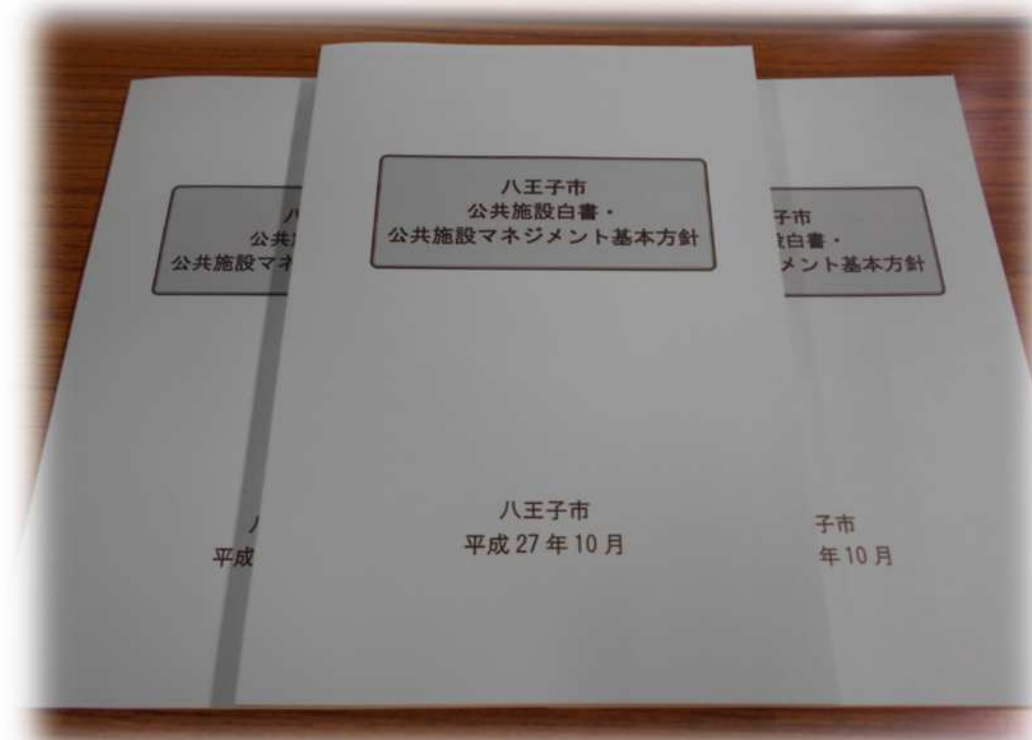
公共施設の維持、更新に  
かけられる費用が少なくなる

## 公共施設更新問題

事故のリスク



## 八王子市公共施設マネジメント基本方針



市民の皆さまと一緒に考えて、公共施設を  
‘賢く’管理していきましょう！

## 基本理念

1

市民等との協働を進め、地域力を活かした施設の活用を推進

6

全庁的な推進体制の整備

5

公平な利用機会の確保

2

安全・安心の確保とライフサイクルコストの縮減

3

機能移転・統合によりサービスを充実

4

公民連携を進め、地域や民間へ移譲



# 八王子市公共施設マネジメント基本方針

## 八王子市公共施設マネジメント推進計画

### 3つの目標

- 1 人口に合わせた施設の適正配置
- 2 市民1人当たり2.03m<sup>2</sup>の維持
- 3 人口に合わせた施設総量の適正化

1 人口に合わせた施設の適正配置

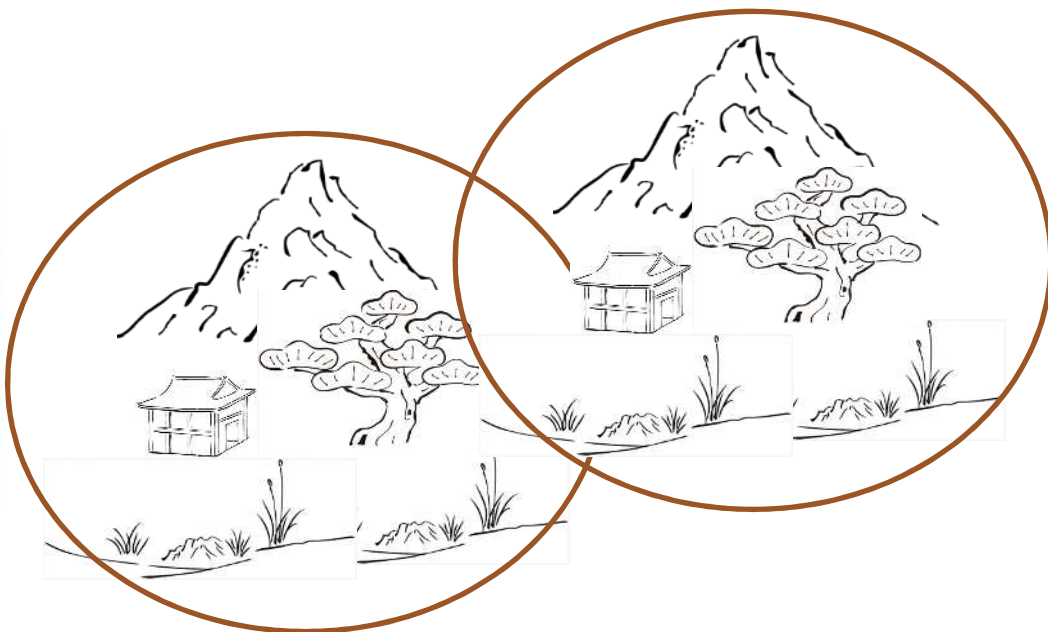
適正配置の例



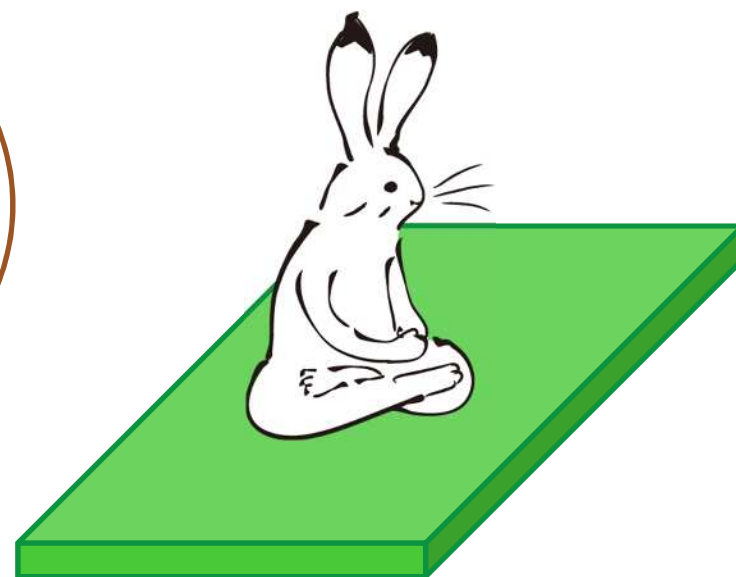
2 市民1人当たり2.03㎡の維持

延床面積 約114万㎡

市民1人当たり 2.03㎡



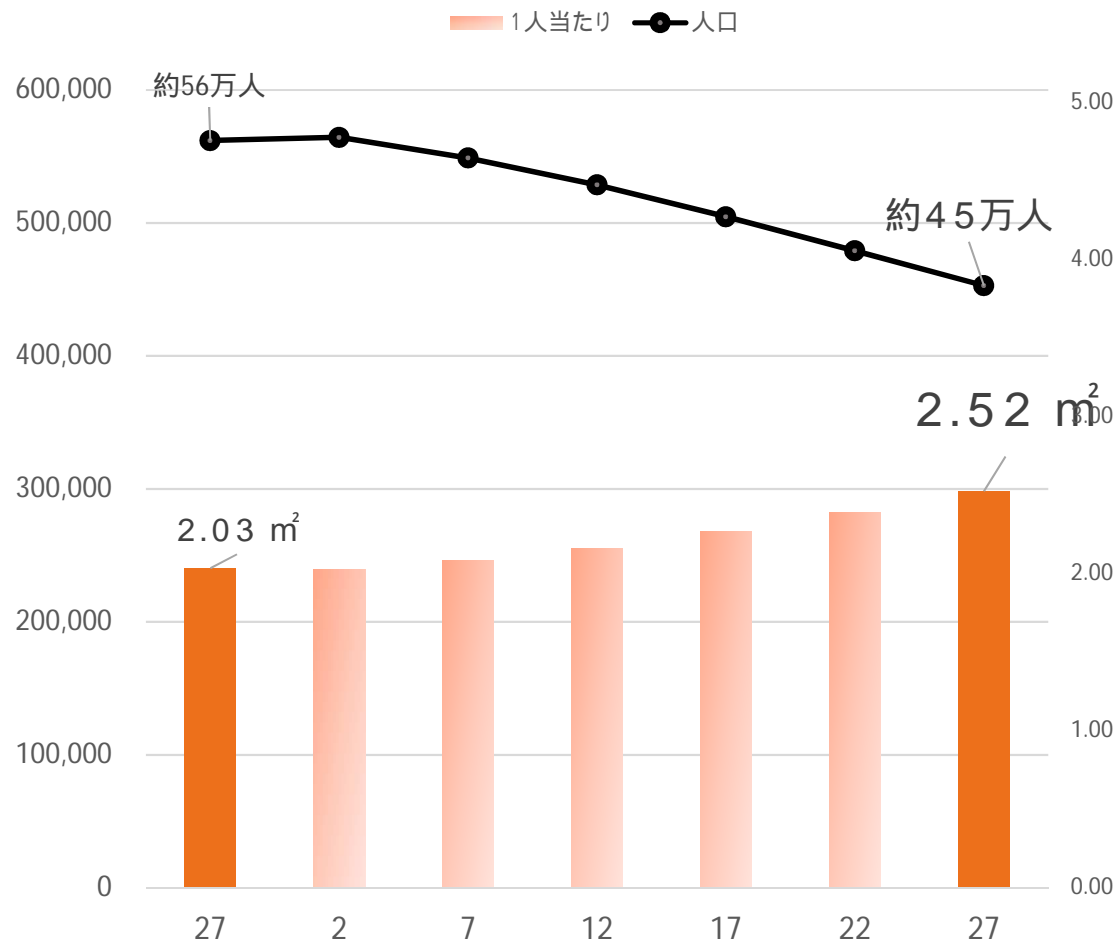
東京ディズニーランド2園分



たたみ約1畳(1.3畳)分



### 3 人口に合わせた施設総量の適正化



新たな施設を建てなくても、人口が減ると、市民1人当たりの延床面積は増えていく。

1人当たり2.03 m<sup>2</sup>を維持するためには、施設総量を減らしていく必要がある。

## 将来イメージ

1人当たり面積が $2.03\text{m}^2$ が $2.52\text{m}^2$ になるということは…

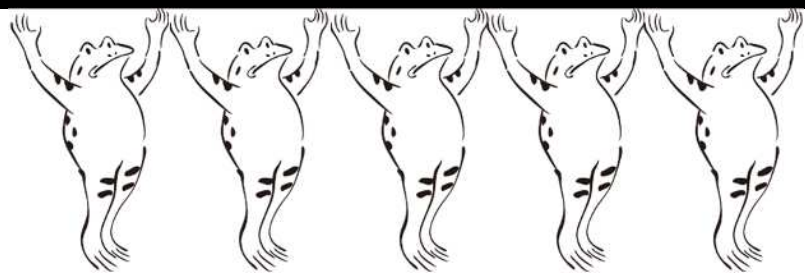
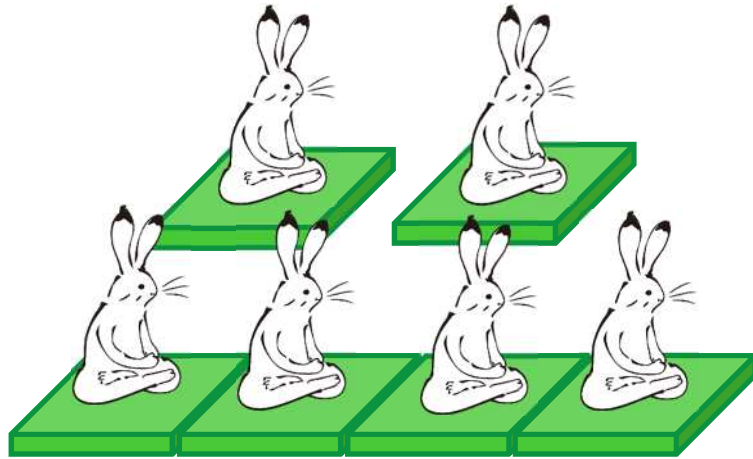


八王子市内に学校が約50校分増えることと同じ



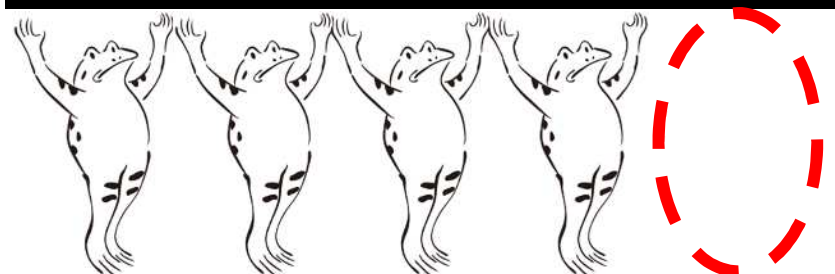
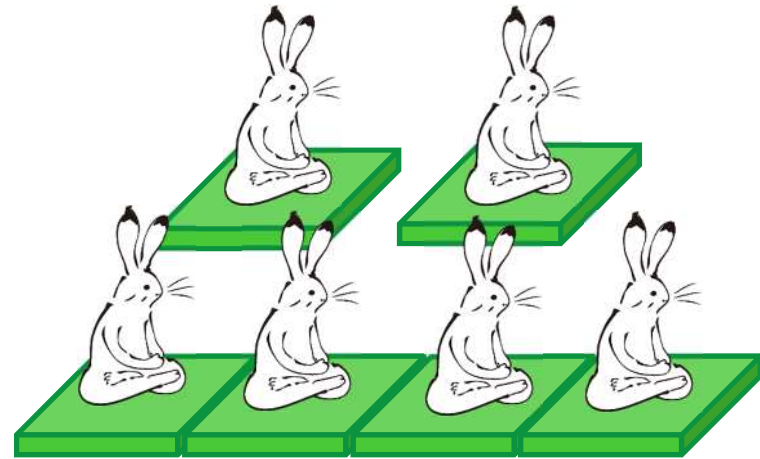
# 将来イメージ

現状 (1人当たり2.03m<sup>2</sup>)



5人でたたみ6枚を支える

将来 (1人当たり2.52m<sup>2</sup>)

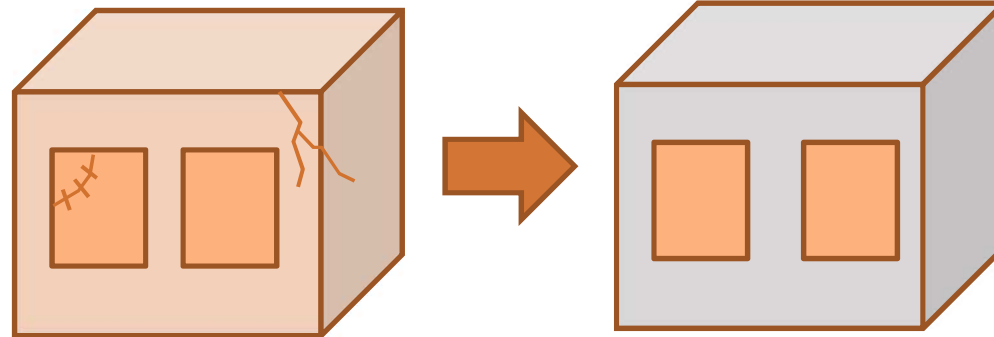


4人でたたみ6枚を支える

- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

## 具体的な手法

### 長寿命化



鉄筋コンクリート造の事務所  
法定耐用年数50年

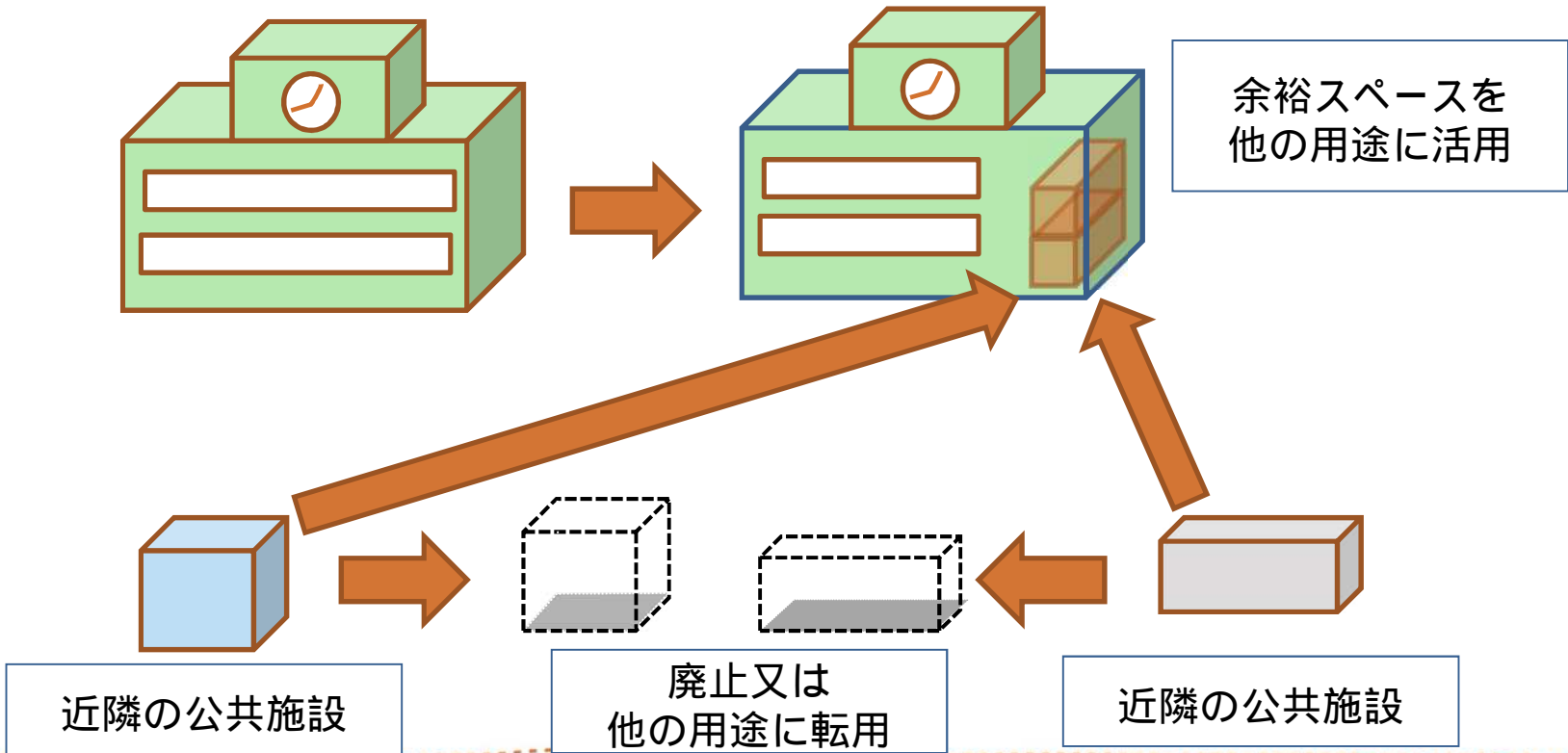
計画的な予防保全により目標  
耐用年数を25年長い75年に

- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

# 具体的な手法

## 施設の複合化

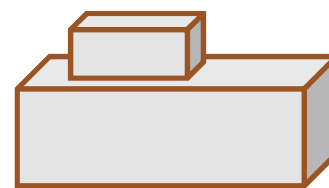
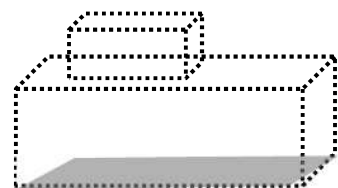
例えば学校の複合化のイメージ



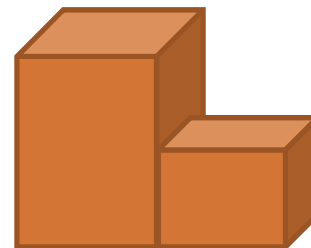
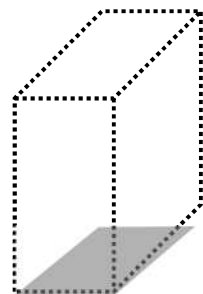
- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

## 具体的な手法

### 民間へ移譲 民間施設の利用



民間へ移譲



民間の施設を利用



「ねえ、ボクのぶんは・・・？」



知っていますか？

子どもたちが将来使う資源を、私たちが「いま」使っていることを。このままの暮らしでは、地球ひとつだと足りません。未来のぶんのエネルギーや食料が心配です。

“地球にちょうどいい暮らし”をはじめませんか。

人と自然の未来を守るWWFにご協力ください。WWF



ACジャパン支援キャンペーン